



自民党

【とかメール】は、前衆議院議員とかしきなおみの政治活動を報告して、選挙区で議論を!

前衆議院議員 自民党大阪7区(吹田市・摂津市)支部長

とかしき なおみ

とかしきなおみ後援会事務所 〒564-0026 吹田市高浜町9-16 TEL.06-6319-1535 FAX.06-6319-1536



北朝鮮のミサイル・人工衛星打ち上げ問題や、中国の在日大使が「日本が台湾に加担すれば、民衆が火の中に連れ込まれる」と恫喝するなど、昨今の周辺国の動きには目に余るものが散見され、日本を取り巻く環境は厳しくなっています。

では、日本は国を守るためにどうすべきでしょうか。防衛費を5年で43兆円の倍額にするというのも一つの方法です。

しかし私は厚生労働を専門にしている政治家として、「薬で日本を守る」という方法を提案したいと思います。



ひとたび戦争や自然災害が起これば、水・食料の次に「薬」が必要となります。この「薬」を国防のために使うのです。日本は高齢者が多いので、高齢者向けに特化した薬の生産を積極的に手がけ、ゆくゆくは高齢者の薬を100パーセント国内で生産できることを目標にします。高齢者が生活しやすいようにする技術開発は、今後世界でますます

「薬」で日本を守る!

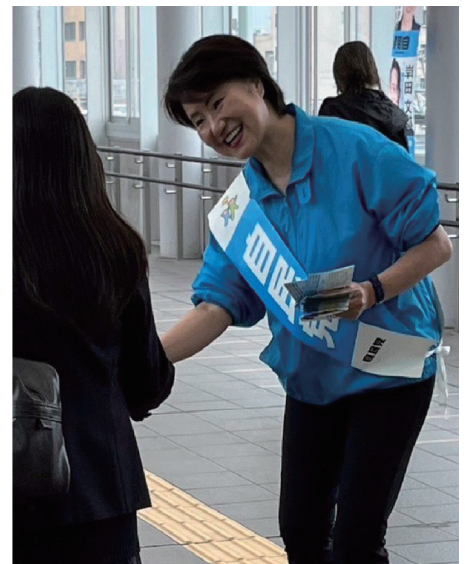
す必要となってきます。超高齢社会の日本が間違いなくリーダーシップをとっていくこととなるでしょう。日本が創薬で何十年もかかって実績を出すより、日本人の得意な加工技術を開発し駆使する方が、早く実績を出すことができます。

ポイントは、高齢者用の「薬」を国内で原料から、生産、保有して自己完結型にしておくことです。

私は厚労を専門とする政治家として、新たな防衛策として「薬で日本を守る!」という手段を提言し、実現に向けて邁進します。



世界の高齢者の「薬」が100パーセント近く日本で寡占状態をつくることが出来れば、国の防衛力とリンクしてきます。人を殺める可能性のある武器で身を守るのではなく、平和裏に「薬」で身を守る。まさに発想の転換です。



薬剤師『とかしきなおみ』のワンポイントアドバイス

「人食いバクテリア(劇症型溶結性レンサ球菌感染症)」に気を付けましょう!

1

どんな症状が出る?

「手足の痛み」「腫れ」「発熱」から始まり、短時間で手足の壊死や多臓器不全を引き起こし、ショック症状から死に至る場合がある

2

どんな病気なのか?

- ・致死率「約3割」
- ・例年の**3倍**のペースで患者増

特に「**高齢者は注意**」

3

予防するには?

- ・「傷口の清潔」(石鹸で洗う・アルコール消毒をする)
- ・「傷があるときにプールや川に入らない」
- ・飛沫・接触でも感染するので、標準予防(手洗いなど)は徹底する

・救急車を呼ぶか悩んだとき…短時間で急激に症状が悪化する場合があるので、

#7119(医療・看護師が**24時間対応**)にまずは相談ください

SNS で応援!



こちらのQRコードをかざして読み取りできます!



【プロフィール】

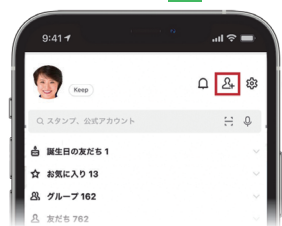
1962年京都市生まれ
昭和大学薬学部卒業(薬剤師免許取得)
株式会社 資生堂 入社
早稲田大学ビジネススクール卒業
東京都杉並区議会議員連続2期
2005年衆議院小選挙区にて初当選

【これまでの主な役職】

厚生労働副大臣
環境副大臣
衆議院 厚生労働委員長
党 厚生労働部会長
党 環境部会長

LINE 登録の手順 簡単! 3step!

LINE アプリ を開く



① を選択し
QR コードリーダー
 を開く



② このチラシ中段の
QR コードを
読み込む



③ 友達を追加
で登録完了!



SNSで情報発信や
活動報告をしています!



皆様が知りたい
政治・経済について
わかりやすく解説!

Youtube
とかしきチャンネル

